

お手入れ方法

つづき

ストラップ

本体から取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いした後、すぐに乾いた布で水分をふきとり十分に乾燥させる。(故障・サビなどの原因)
 ※直射日光の当たる高温多湿の場所には保管しない。
 (変形・変色の原因)

お手入れ上の注意

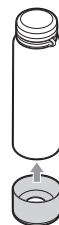
お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は、漂白剤を使用しない。サビ・塗装はがれのおそれ。
- 本体内部に酸素系漂白剤を使用する際は、飲み口セット・せんセットを取りつけない。
 本体の内圧が上がり、飲み口セット・せんセットが飛び出すなど危険。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。
 傷・サビなど故障の原因。
- 本体・飲み口セット・せんセット・底カバー・ストラップの煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。
 傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いでできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。
 ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。

底カバーの取り付け方

底カバーの取り付け方

底カバーを本体の底に合わせしっかりと取りつける。



※取りつける時は十分乾燥させてからおこなってください。サビや底カバーの抜け落ちによるけが、やけど、破損などの原因になります。

パッキンの取りつけ方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

お手入れなどで、せんパッキンやロパッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

せんパッキンの取りつけ方

せんにせんパッキン(上下方向に注意)を取りつける。



ロパッキンのはずし方

ロパッキンを指で寄せて飲み口から少し出し、取りはずす。



指で寄せる

※正しく取り付けないと、飲みものもがれる原因となります。

ロパッキンの取りつけ方

ロパッキンを飲み口の溝に合わせ少しづつ入れていく。(上下方向に注意)



指で片方を
おさえる

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

- ご使用前、ご使用後は十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■せんから もれる	パッキンが正しく、しっかり取りつけられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	飲み口セットが正しく、しっかり取り付けられていますか。	正しく取り付けてください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
■飲みもの (本体内部・せん) がにおう	飲みものを入れすぎていませんか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内部、せんセットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■保温(保冷) が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)飲みものを規定量になるまで入れてください。

※せん・せんパッキン・飲み口・ロパッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるラベルに記載されています。)

- ①ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
AKD型 せんセット(せん、せんパッキン)
AKD型 せんパッキン
AKD型 飲み口セット(飲み口、ロパッキン)
AKD型 ロパッキン
AKD型 底カバー
AKD型 ストラップ

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

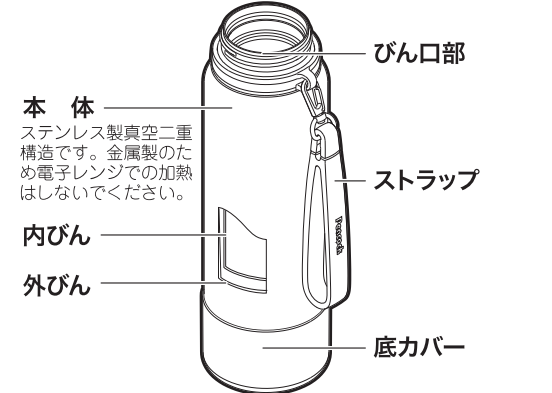
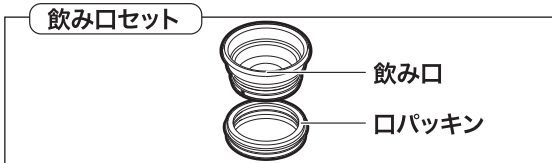
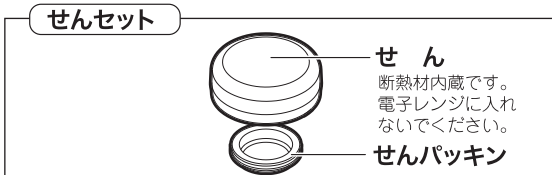
Peacock

スポーツマグ 取扱説明書

AKD型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



本体
ステンレス製真空二重構造です。金属製のため電子レンジでの加熱はしないでください。

内びん
外びん

取扱説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。 ③

安全上のご注意

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

飲みものの保温・保冷以外に使用しない

- **ドライアイス・炭酸飲料など**
本体内の圧力が上がり、せんセットがあかなかつたり、飲みものがふき出したり、部品が破損してけがのおそれ。
- **みそ汁やスープなど、塩分を多く含んだもの**
サビ・保温(保冷)効果の低下の原因。
- **牛乳・乳飲料・果汁など**
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出したり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- **果肉・お茶の葉など** もれなど故障の原因。

- **乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらには注意する。**
やけどけがなど危険。

- **ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。** 変形・変色の原因。

- **飲みものは規定量までにする。** 入れすぎると、もれ・あふれ・やけどのおそれ。

- **飲みものを入れた状態で長く放置しない。** 腐敗・変質の原因。

- **飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分にお手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

- **本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。**
はがすと、保温(保冷)効果が低下するおそれ。

- **製品の横置きは避ける。** もれるおそれ。

- **倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。**
破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・飲みものがもれる原因。

- **熱い飲みものを入れた場合はやけどのおそれがあるので注意する。**
断熱効果により、熱いものを入れても本体外側は熱くなりません。

- **熱いやかんをびん口部に触れさせない。**
転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。

- **熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わるため、外出時は、ティーバッグなどを使用する。** お茶を保温すると、お茶の色や風味が変わります。これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。

- **熱い飲みものを入れ長時間放置すると、内圧が下がりがせんセットがあけにくくなったり、あけるときの、音がする場合がある。**

- **熱い飲みものをを入れて使用するときは、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。** 急に傾けると飲みものが勢よく出て、やけどなどのおそれ。

- **熱い飲みものを入れた直後、本体をふらない。** 内圧が急に上がりせんセットがあけにくくなったり、あける時、音がする場合があります。

- **大きな氷を入れる場合は、押しこまず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。** 傷・もれ・変形など故障の原因。

- **飲み口セットは必ずしっかり取りつける。せんセットも確実にしめて使用する。** もれ・やけどなどのおそれ。

- **せんパッキン・ロパッキンは必ずつけた状態で使用する。**
もれ・やけどなどのおそれ。衣服を汚す原因。

- **せんセットを持って運ばない。**

- **傾けた状態や顔の近くでせんをあけない。**
熱湯を入れた場合、湯が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。

- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。**
万一のもれを防ぐため、必ず縦に置く。

- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一飲みもののもれがあった場合、精密機械の破損の原因。

- **自動車運転中は使用しない。** やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。
運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

- **自動車専用の缶ホルダーで使用する場合**

- ①あらかじめ強度を確認してから使用する。強度が十分でない場合、缶ホルダーがはずれたり破損して、やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。
- ②市販の缶ホルダーは、据え置き型を使用する。ウィンドウやエアコン吹出口に取りつける吊り下げ型は、ホルダーがはずれる場合があるので使用しない。

- **飲み口セットは、必ず飲みものを空にしてからはずす。**
飛散してやけどのおそれ。

- **底カバーを持って逆さにしない。**

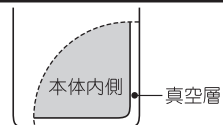
- **ストラップを持ってふりまわしたり、無理な力を加えない。**
- **ストラップは、当社製品以外には使用しない。** 破損やけがなどのおそれ。

- **改造や分解修理はしない。** 故障や事故の原因。

- **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。

- **電子レンジでの加熱はしない。** 火花が飛び危険。変形や変色の原因。

真空層の内部から水音がする場合は、**使用しない。**
保温(保冷)効果が低下するおそれ。
真空層にたまった水が本体内側にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。

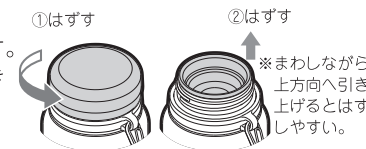


ご使用方法

ご使用前にせんセット・飲み口セット・内びんを洗ってからご使用ください。

1 本体からせんセット・飲み口セットをはずす

- ①本体からせんセットを、矢印の方向にまわしてはずす。
- ②飲み口セットを上方向に引き上げてはずす。



2 飲みものを入れる

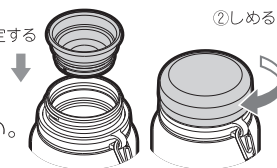
- ※あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
- ※飲みものは図の規定量までにする。
- ※飲み口セットは必ずはずしてください。
- あふれてやけどなどのおそれがあります。

飲みものを入れすぎてせんセットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。
入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、せんセットをしめてください。



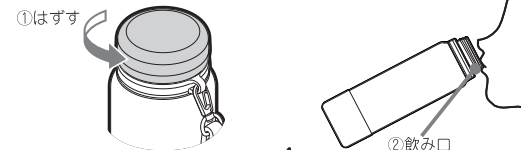
3 せんセットをしめる

- ①本体に飲み口セットを固定する。
 - ②せんセットを矢印の方向にまわしてしめる。
- ※飲み口セットは必ずセットしてください。
 - ※せんセットは確実にしめてください。



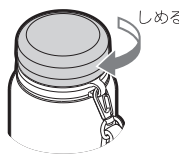
4 飲みものを飲む

- ①本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてはずす。
 - ②飲み口に口をつけてゆっくり傾けながら飲みものを飲む。
- ※熱い飲みものを入れた場合は、やけどに注意してゆっくり飲む。
(断熱効果により熱い飲みものを入れても本体外側は熱くなりません)



5 飲み終わったらせんセットをしめる

本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてしめる。



お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せんセット・飲み口セット

本体(底カバー・ストラップは取りはずす)、せんセット、飲み口セットを水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※つけ置き洗いはしない。

本体内側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、水分が残らないよう、乾燥させる。※つけ置き洗いはしない。

パッキン

せんや飲み口から取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗った後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P.7(パッキンの取りつけ方)を参考にして、せんや飲み口に確実に取りつける。
(パッキン表面にゴミなどが付着していると、もれの原因)

底カバー

本体から取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、十分に乾燥させてからP.6(底カバーの取りつけ方)を参考にして取りつける。
※つけ置き洗いはしない。